

経営比較分析表（平成30年度決算）

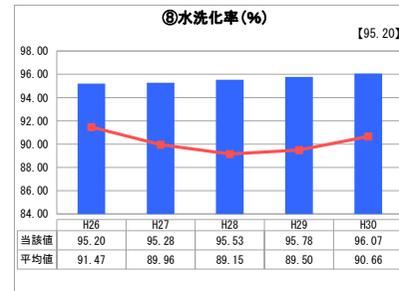
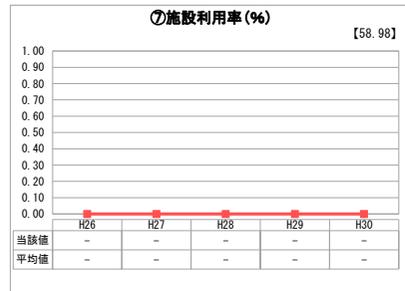
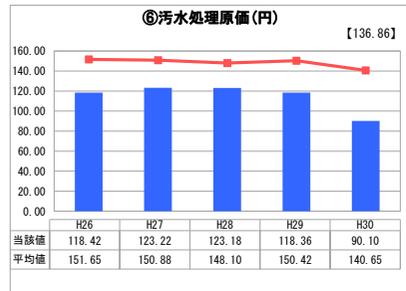
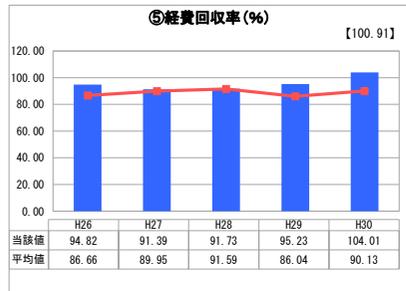
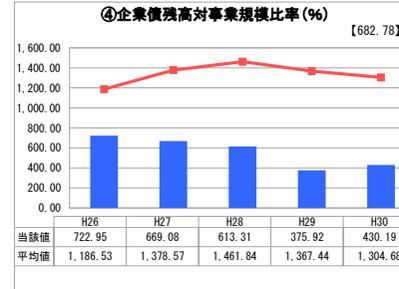
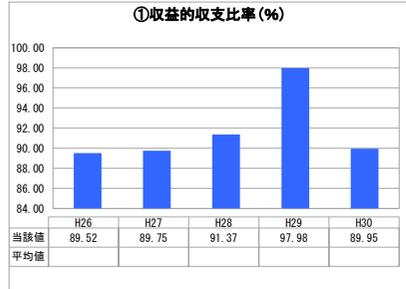
埼玉県 吉川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	82.71	92.38	1,836

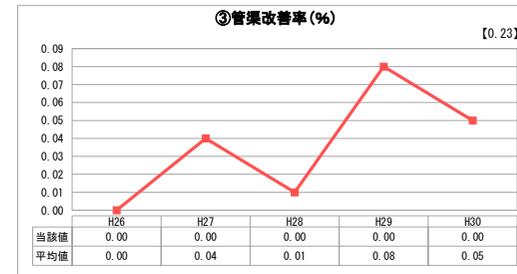
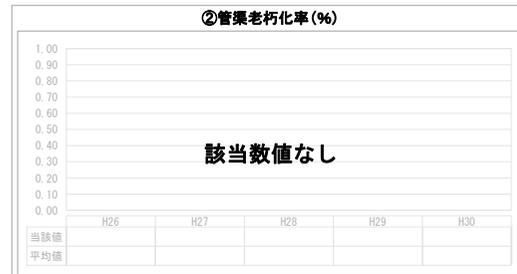
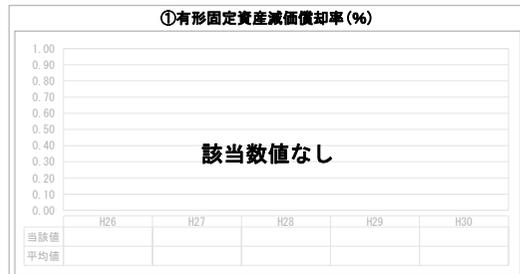
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
72,891	31.66	2,302.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
60,274	6.59	9,146.28

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・①収益的収支比率について、今年度比率が下がった要因としては、企業会計に移行するにあたり打ち切られた決算となり出納閉鎖期間中の料金収入が反映されないことによる。すでに実施されている区画整理事業のほか、新たに実施する区画整理事業において令和元年度から本格的な下水道工事が始まるが、仮換地処分及び建築確認にはまだ時間を要するため減価償却費が増加する一方、下水道使用料の増加を見込めないで下降が予測される。
- ・④企業債残高対事業規模比率については、利率の高い債務の償還が終了したものもあり、類似団体平均値や全国平均値以下の比率となっているため、適切な数値と考えている。
- ・⑤経費回収率は、平成27年度以降、上昇傾向にあり汚水処理費にかかる経費が抑えられていると考えられる。
- ・⑥汚水処理原価については、類似団体平均値や全国平均値以下の原価となっているので、適切な数値と考えている。
- ・⑧水洗化率については、類似団体平均値や全国平均値以上の数値となっている。微増ではあるが、比率が伸びていることから未接続世帯への戸別訪問などは継続的に実施していく。

2. 老朽化の状況について

- ・管渠改善率については、耐用年数を経過した管渠がないため、管渠の更新は実施していない。今後は、経営戦略を策定し、計画的に管渠の維持管理及び更新を図る。

全体総括

- ・今後の汚水処理費の増加や管渠の耐震化等の工事に対応するため、以下のとおり経営の改善を図る。
- ・令和元年度より地方公営企業法の財務適用を行ったため経営状況が把握しやすくなると考える。これらを活用し事業の分析及び経営管理の向上を図る。
- ・経営戦略を策定し、収益と支出のバランスを長期的に管理し、工事計画の見直しや下水道使用料金改定を検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。